

学校だより

2月号

『元気な仲間

河内長野市立美加の台小学校

平成21年2月2日

たのしい学校』

TEL 62-2468

発行

美加の台小学校ホームページ アクセスナンバー → <http://academic1.plala.or.jp/mikaes-a/>

共に育てよう ～互いに理解することから～

校長 石 黒 達 士

そろそろ梅の便りも届く季節となりましたが、保護者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

今年もインフルエンザ流行の時期になりました。市内でも、インフルエンザによる学級閉鎖が報告されています。本校でもかぜによる欠席者が少し増えつつありますが、急激に増えることも予想されます。かぜかなと思ったら無理をせず、睡眠を十分にとり、休養するようにしてください。

なお、インフルエンザの症状や予防については「保健だより」等を参考にしてください。

さて、先日は学校アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートでは、現在、行っている取り組みの中で続けていくべきものや検討を要するもの、また、今後学校として留意すべき事柄など、さまざまなご意見をお聞かせいただきました。後日、改めて詳細をご報告するつもりですが、取り急ぎ紙面をお借りしてお礼申し上げます。

ところで、平成23年度から新学習指導要領のもと新しい教育課程が実施されます。これから学校がどのように変わっていくのか、また、どのように変えていかなければならないのか、多くの課題を突きつけられているといえます。

しかし、どのように社会の状況が変わっても、学校や家庭の中で一人ひとりの子どもの持っている力を伸ばし、心を育てていくことが大切なことに変わりはありません。そのために、学校でも家庭でも最善の努力をすべきであり、しかも、互いの連携協力の姿勢が必要だと思っています。学校アンケートもその一つですが、異なる立場の異なる意見を参考にしながら、美加小の子どもたちにとって何が大切か、何を育てていくのかを考え、学校の本来の役割が果たせるように頑張って参りたいと思っています。まだまだ、本校としての課題も多いのですが、何より教育の専門性を高め、きちんと子どもたちと向き合う中で、取り組みをすすめること、そして、ご家庭では、子どもの生活基盤としての役割を果たしていただきながら、共に育てる教育をめざしていきたいと考えております。

教育改革の真っ只中、学校や家庭に課せられた役割は大きいですが、学校は家庭の、家庭は学校のことを、互いに理解しあい、一方通行的な見方でなく、「共に育てる」ということを肝に銘じて努力を重ねていきたいものです。その中で、元気で健やかな子どもたちを育てていけるよう、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。